

## 『栄村らしい教育を』

本校は、平成23年4月に村内の北信小学校と東部小学校が統合し、栄小学校としてスタートしました。

東日本大震災が発生した翌日未明に、栄村を震源とする最大震度6強の地震が発生し、多くの家屋が倒壊し、交通網も大きな打撃を受けました。本校は、村の復興がまだ進まず、震災後多くの人々が困難な生活を強いられている中での開校となったわけです。そのとき1年生として入学した子どもたちは平成28年度末に中学に向け巣立ち、震災の年に生まれた子どもたちが本年度本校に入学してきました。

さて、本校がある栄村は新潟県との県境に位置し、県内でも豪雪地帯として有名です。一年の約半分が雪との生活になりますが、四季折々に表情を変える山の美しさ、雪解け水の川の清らかさは自然が持つエネルギーを感じることができます。

平成28年度より本校の分校となった秋山分校は、本校から車で約一時間ほどの場所に位置し、現在児童と教師が対面で学習を行っています。本年度は89日本校に通学し、学習をする予定ですが、分校での学習日も時々スカイプを利用して本校児童と共に学習活動を進めています。この秋山はマタギの文化が息づく地でもあり、熊や鹿などの狩猟が現在も行われています。

児童数は本校44名、分校1名の小さな学校ですが、村の人々の温かさと村教委の熱心さに支えられながら、心優しい子どもたちが元気に育っています。給食も地産地消の自校給食で、栄養士や調理員さんのおかげで手の込んだ給食を毎日いただくことができます。

小・中学校は村内に各校ずつですので、より連携を密にしようと精力的に様々な取組が行われています。学力や規則正しい生活面の向上はもとより、総合的な学習冊子の合同作成や職員研修の合同開催、親睦会実施など子どもを中心にしながらも、職員同士の交流も図っています。

人口2,000人を切った村ですが、この村の将来を担う人材を育成できるようふるさとを愛し、ふるさとを語れるよう「ふるさと学習」にも力を注いでいます。

少人数の良さを先生方と共に日々追究しつつ、小規模校だからこそ教育の原点を見つめられる実践を、そしてこの村だからこそできる教育、この村にしかできないこの村らしい教育をめざして、職員一丸となって実践していきたいと考えています。

栄村立栄小学校

校長 下 育郎